

司書の三つ押し!!

普段は1日1,000円の利用料がかかる閉架図書を中心に、毎月おすすめ3冊をご紹介します! 今月おすすめの3冊は、3月中は無料でご覧いただけます。この機会をぜひご利用ください。

2024年3月のおすすめ3冊



『エリザベス女王：切手に最も愛された96年の軌跡』

山田 廉一／著 2023年 日本郵趣出版／刊

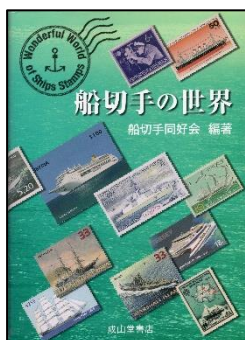
70年という在位期間に加え、本国とコモンウェルス(旧英連邦諸国)の首長として、世界で最も多くの切手に描かれたエリザベス女王。数々の切手や絵はがき、写真資料を使い、世界中の人々に慕われた女王の96年にわたる生涯をたどります。イギリス切手の雑学コラムも満載です。



『日本のメータースタンプハンドブック』

日本郵趣協会メータースタンプ部会／編 2011年 鳴美／刊

メータースタンプとは、主として郵便を多数差し出す時に使われる郵便料金計器による、切手と日付印の機能を兼ね備えたスタンプのこと。メータースタンプの歴史や日本の郵便料金計器別納制度の解説、メータースタンプの計器別の印影分類などのデータをまとめた1冊です。



『船切手の世界』

船切手同好会／編著 2011年 成山堂書店／刊

世界に2万種以上発行と推定される船をえがいた「船切手」。それら船切手から、帆船・客船・軍艦の一部にテーマを絞り、それぞれの船の歴史やその船にまつわるエピソードを7名の収集家が分担執筆した本書。オールカラーで、船切手だけでなくカバーも豊富に紹介されています。※カバー…実際に郵便物として配達された封筒やはがき類など。